

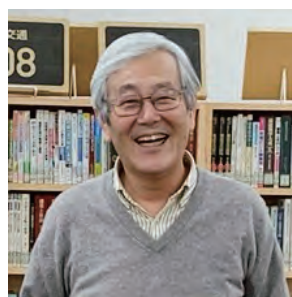


「闘うが争わない」をモットーに、
 様々な意見を持つコミュニティでの合意形成による
 「住民主体のまちづくり」を目指しています。

まちづくりに関心や興味をもつ「隠れまちづくり人」を発掘して、人材不足に悩むまちづくりの現場にどんどん供給するにはどうすれば良いか？現場に風穴を開けるには、躊躇っている人の背中を押すにはどうすれば良いか？昨年7月に応募した時には、発掘すべき対象と現場とのマッチングのイメージは持っていたのでそれを実行に移すべく試行錯誤を始めました。超えなければならない課題が明確になり、これからという3月にコロナ禍が本格化しましたが、ラボにおけるサロンの会合や現場との多様なマッチング事例もいくつかモデル実施することができました。また元町界隈で活動するグループもまちラボを拠点につながりつつあります。これからも、人と活動や現場をつなぐ触媒となり、何か面白いことが起こり、新たな出会いや発見のある街中の拠点となるよう、みんなで頑張っていきたいと思えます。



リニューアルオープンイベントで登壇する
 浅見事務局長（右上）



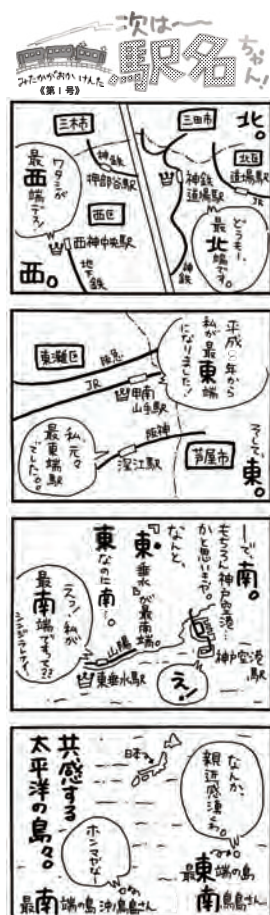
野崎隆一

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 理事長。
 1967年神戸大学建築学科卒。東急不動産（株）勤務を経て（株）遊空間工房を設立。阪神淡路大震災での被災時には、一級建築士としてボランティアに関わることでまちづくりの重要性を感じ、住宅再建や復興まちづくりに携わる。2000年に神戸まちづくり研究所を設立し、日本各地の被災地での復興まちづくりに関わる。2017年黄綬褒章受賞。



まちラボが「まちのね」でも紹介されています！

紹介されているバックナンバーのPDFはこのQRコードからご覧になれます！



「次は駅名」
 7月16日夕刻まじらボ(神戸市中央区)において駅名純粋批判中央区編が開催された。このイベント立ち上げの契機となったのが、神戸・ポートアイランドにある理化学研究所計算科学研究センターのスーパーコンピュータ「京」(京のシャットダウン)昨年8月末、その後継機「富田」に置き換わるという出来事だ。コンピュータは音岳に変わったのに、最寄り駅名は京コンピュータ前駅(神戸新交通ポートライナー)のまま。市役所と写館も市役所と写館の建て替えに伴い、三宮・市役所前を再考する必要がある。市内だけでなく、全国の駅名について、有志が口を揃えて三宮・花時計前という意見も。このイベントの発起人に伴う諸般の中で、駅が所在する神戸駅(地下鉄海岸線)の一人である辻信(同氏)宅地開発が生んだ駅名と地名の乖離が物議を醸した。一氏は周辺環境はあまり話に

「三宮」花時計前に異議あり
 発端はポートライナー「京コンピュータ前」駅
 8月20日に開催された西区・北区編は「神鉄パシヤ」と銘打たれた。西舞子は後も注目したい。

9月3日に開催された垂水区編では、水区編で「水」を冠する駅名に苦言を呈する案が相次いだ。また、東垂水は神戸市最南端の駅であるが、それと分かる碑を立てたり副駅名表記をしてはどうかという意見も。最近インスタ映えする話題になった、隣の隣の茶屋敷に餅くか今

2020秋 創刊号
 発行所 まちラボ
 編集 全国駅名研究会
 神戸市中央区元町通 4-2-14
 こうべまちづくり会館4階
 〒650-0022 078-361-1550

8月20日に開催された西区・北区編は「神鉄パシヤ」と銘打たれた。西舞子は後も注目したい。

性を再確認する会となった。当イベントでは他にも「西」を名乗る駅が連続する西舞台・兵庫区(本社)は、神鉄パシヤの沿線は、昭和80年代以降、郊外住宅地開発が活発になったエリアで、昭和の初めに大半を開業させていた同社路線の一部の駅(岡場・野台・神鉄道場・藤原台・五社・有馬)は、開業から22年に開業予定は開業に伴う駅名変更も、北区の駅名も議論に上がった。会員から提案は「新員(新)」「網島中央」など。中でも網島の英訳を元とする意見には会場がどよめいた。

山陽電車の駅にも言及
 9月3日に開催された垂水区編では、水区編で「水」を冠する駅名に苦言を呈する案が相次いだ。また、東垂水は神戸市最南端の駅であるが、それと分かる碑を立てたり副駅名表記をしてはどうかという意見も。最近インスタ映えする話題になった、隣の隣の茶屋敷に餅くか今

9月3日に開催された垂水区編では、水区編で「水」を冠する駅名に苦言を呈する案が相次いだ。また、東垂水は神戸市最南端の駅であるが、それと分かる碑を立てたり副駅名表記をしてはどうかという意見も。最近インスタ映えする話題になった、隣の隣の茶屋敷に餅くか今

まち活拠点 まちラボ

〒650-0022 神戸市中央区元町通 4-2-14
 (神戸市立こうべまちづくり会館 4・5階)
 Tel | 078-361-1550 Fax | 078-361-1551
 Mail | kobe.machi.labo@gmail.com
 SNS | machilabo_kobe (Twitter)
 machilabo.kobe (Facebook)
 machilabo (Instagram)
 Web | https://machi-labo.city.kobe.lg.jp/

13:00 ~ 21:00 (定休 | 水曜日・年末年始)
 施設管理者 | 特定非営利活動法人 神戸まちづくり研究所

元町駅から徒歩 10分、花隈駅から徒歩 5分
 みなと元町駅から徒歩 1分

まちラボ

MACHI

LABO

STYLE

VOL.01

特集 | じわじわと進化するまちラボ



鳥瞰図絵師の青山大介氏(右)と地図のスペシャリスト辻信一氏(左) 7月2日に行われた「青山大介さんと見る神戸の鳥瞰図」より

5階のワークスペースもあります！ MAP A

入居者も増えてきた5階のワークスペースですが、まだ2部屋の空きもあります。(2020.10現在)間取り図はパンフレットをご覧ください。お問い合わせは下記連絡先まで。

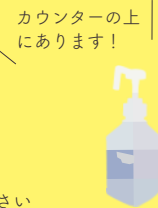
神戸市都市局まち再生推進課 ☎078-595-6732

新型コロナウイルス感染拡大防止対策 MAP C

- ・常時換気(窓開いています)
- ・使用後の備品や返却図書消毒
- ・間隔を空けた座席配置

ご協力ください

- ・受付で氏名、連絡先のご記入
- ・マスクを着用してください
- ・手洗い、手指消毒をしてください
- ・大声の会話はご遠慮ください
- ・体調が悪い時はご利用をお控えください



まちラボマップ



(まちラボのカウンターのご案内より引用)

取り扱うお店が限定的な故に、神戸の特に東側に住む市民にはその存在が意外と知られないようです。そこで、まちラボではこの神戸のソウルドリンクを置くことにしました。コンビニで売っているジュースでは決して味わえない、神戸の伝統「アップル」をこの機会にぜひ！

じわじわと進化するまちラボ

まちラボのオープンが2019年10月1日でした。内部設営作業が始まったのは9月20日！！なんと10日間で約1万冊の書籍と資料を本棚に並べて、分類ごとに並べなおし、蔵書リストとの照合を終えないといけないという無理なスケジュールでの開始となりました。大急ぎで作業を始めましたが……間に合いませんでした。とにかくまず、オープニングイベントまでには本棚にいい感じで本が並んでいる状況を目指すことに。なんとか棚出しは終わったものの、分類ごとの並べなおしやリストチェックは日々の運営をしながら行うことに。その後スタッフみんなで協力して並べ直しやリストチェックを行い、なんとかカタチになってきました。今号ではそんなまちラボの進化の過程を、図書はもちろん、あれやこれやの紹介をしていきたいと思います。



ロッカーや冷蔵庫も使えます！

地域の読み物が集まっています！ MAP B

まちラボでは地域の人の熱い思いによって生まれた冊子やフリーペーパーを展示 or 配布しています。どれもなかなかお目にかかることのできない貴重なものです。まちの情報もテイクアウトしましょう！



左上：垂水・塩屋エリアのフリーペーパーたち 右上：長田区在住のオーちゃんによる「オーちゃん」 左下：ヘリテージ明石と明石高専の学生さんによる「明石まち歩きマップ」 右下：ものがたりふえすた！のメンバーが作成した「元町通信」

そして、まちラボ図書リニューアル！ MAP E

新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言発令に伴い、この春まちラボも休館していました。そんな前代未聞のプランクの中、図書のラインナップを大幅に見直しました。時間をかけて一冊一冊、本と向き合ったのです。その結果、こうなりました。

01. 本棚にメリハリを

図書の展示数を減らし、オススメ本の面出しも可能に。バラバラだった本のサイズも揃えました。



After!

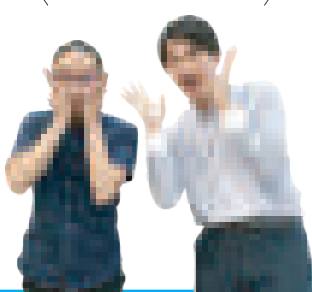
02. 新しい仕切り板

分類をシンプルに見直し、まちラボマークもアクセントに加えました。



After!

何ということでしょう！



楽しいイベントもたくさん！

フリースペースで繰り広げられる「実験」 MAP F

これまでにフリースペースで開催されたイベントの一部を紹介します。「駅名純粋批判」については裏一面の記事をご覧ください。



中央区でオンラインウォーク

コロナ禍で外出しにくい状況でも、「オンラインでまちあるきとクイズを組み合わせる」という企画。素材集め、設問づくり、イベントの運営もインターンの学生さんたち自身によるものでした。

食べサロン「神戸とパンの物語」

神戸の文化を知るをテーマに開港以来定着した「パン」の文化をみんなで簡単にお勉強＆「おすすめのパン」を持ち寄って食べ比べるイベントを開催。参加者からシリーズ化希望の声も！



Oゲージ鉄道模型運転会

日本では珍しいOゲージの鉄道模型運転会がJOCR 関西様の企画で開催されました。いつものフリースペースに神戸ゆかりの車両が行き交い、ご来館された皆様楽しんでおられました。



KOBE まち大 2020

2018年度から続けてきた「KOBE復興大」が、まちラボ・水谷ゼミ・阪神白地ネットの共同主催で装いを新たに始動。広い意味での「まちづくり」を語る、聴く、体験から学ぶ場として実施中。



まちラボではお持ち込み企画を随時受付中です。あなたの「好き」が活きたまちにつながります！



After!

03. 番号の再編とラベルデザインの更新

バラバラだった番号も順番通りに！黒いラベルも◎！

若者の力でどこまで商店街に役立てるか挑戦しています！



ものがたりふえすた！を運営している皆さん

地域ではいろいろな取り組みがありますが、どこも人手やアイデアを求めている場合が多いですよ。一方で学生さんが活動の場や研究テーマやフィールドを求めている、活躍の機会を探していたりという相談も耳にします。この2つのニーズをうまくマッチングできないかな？と考えたのが「まち活project」です。現在は、北区泉台にある「すずらんコミュニティガーデン」への大学生の活動提案を実施中。地域の方たちのコミュニティの場で、世代を問わずみんなが楽しめるプログラムづくりとして、ガーデン内の装飾づくりを進めています。中央区の元町通りでは、商店街を舞台とした「ものがたりふえすた！」というイベントの実施を大学生のグループが運営しています。運営メンバーの募集や広報などをお手伝いするとともに、まちラボを拠点として使ってもらうなどの連携もしています。他にも、灘区大和公園内の「あすパーク」での地域課題解消への取り組みや、兵庫区会下山地区での「坂の名板DIY」など色々なテーマを体験する人を募集しています。

ラボを飛び出しての活動もやっています



左：ものがたりふえすた！のロゴ 中：ものがたりふえすた！の様子 右：すずらんコミュニティガーデン



そもそも「まちづくり」って何やねん？

まちかどヒーローインタビュー



聞き手 まちラボ 山岸

記念すべき第1回目のヒーローは、こうべまちづくり会館で活躍された寺澤正敏さんです。現在は、神戸すまいまちづくり公社でお勤めですが、以前はまちづくり会館の職員として色々な企画や運営をされていました。

そんな寺澤さんにとっての「まちづくり」とは？

いろいろな課題解決やハード事業も「まちづくり」だと言えるし、まちの中で何か“こと”を起こせばそれはもう「まちづくり」と言ってもいい気がします。すぐに受け入れてもらえないものもあるかもしれないですけど、まちを悪くしようと思って“こと”を起こす人はいないと思います。個人的には「まちを楽しんでいる人」がまちを盛り上げていると感じますし、その人たちの姿勢自体がまちづくりと言えるのではないかなと思います。まちを良くしていきたいという気持ちもあるでしょうけど、まずは自分たちが楽しんでいると。そういう雰囲気そのものがまちを活気づかせている気がします。いろんなことを自分たちで考えて、突拍子もないこともやってみて、それがいつの間にか根付いて、「あのまちって元気やね」みたいになったりすると、そこに人が集まってきました。人が集まってきたりすると、そこだけが正解ではないでしょうけど、それぞれが思い思いにまちを楽しんでいる姿もいいなと思います。個々の活動も十分にまちへ貢献していて、まちづくりだと思いますよ。

寺澤正敏さん



詳細版はコチラ！

